



ケース会議や支援会議は、支援を必要とするすべての児童生徒が安心して学校生活を送ることができるように、関係者が情報を共有し、よりよい支援ができるようにするためのものです。今回は、移行支援会議のねらいや進め方のポイントを紹介します。

## 移行支援会議 —引継—

進学等の際に、どのような支援があれば、**子供たちが安心して学校生活を送ることができるのか**を確実に伝え、新しい環境でできる**支援を検討**する会議

【参加者】 保護者、進学先の教職員、在籍学校の教職員

【内容】 ①学校や家庭での児童生徒の様子や支援の内容を、進学先の教職員に伝えます。  
②保護者の希望に添って、個別の教育支援計画等を引き継ぎます。

## 移行支援会議の進め方 (小学校から中学校への例)

テーブルの上にお花を飾ることも考えられますね！

司会進行は、児童が在籍している小学校の先生が行うのがよいでしょう。

**和やかな雰囲気**で会が進行するようにしましょう。

### 第 回 移行支援会議

1. 日時 平成 年 月 日 ( )

2. 場所 ○○立○○小学校

3. 出席者 保護者  
○○小学校  
□□中学校  
◇◇ (関係機関)

4. 目的 (○○さんが) スムーズに中学校生活を送ることができるように、関係者が情報を共有し合い、よりよい支援ができるようにする。

5. 支援の経過と様子  
(1) 小学校より  
(2) □□□□より  
(3) ◇◇◇◇より  
(4) 保護者より

6. 今後の方針

1回目は在籍している小学校で開催すると、保護者は安心されると思います。進学の時期が近くなれば、進学先の学校で行うとよいでしょう。

出席者の紹介(自己紹介)を行います。子供と関わり深い方から順に行うとよいでしょう。

関係機関が出席できない場合は、事前に関係機関から聞き取った助言等を紹介し、保護者には、家庭での様子や進学後の生活について、現在不安に感じていることなどを話してもらいましょう。保護者に話していただく内容については、じっくり考えることができるように余裕をもって事前に伝えましょう。

中学校での支援の方針を大まかに決め、できるだけ**小学校での支援が継続できるように検討**します。また、進学先の教職員は保護者や児童が安心できるように、**新年度スタートからできる支援**を丁寧に伝えましょう。

・学習面での支援  
・生活面での支援  
・社会性・対人関係面での支援 等

### 【個人情報保護】

個人情報が出ないように、レジュメ等は保存用を除いて廃棄するなどの対応が必要です。

### 【確実に新年度の教職員へ引継ぐために】

進学先の学校は、「個人ファイル」を作成し、引継ぎ内容の記録用紙等を保存します。また、新年度の教職員に確実に伝わるように、**共有の仕方についても校内での工夫【ほっと通信(10月号参照)】**が必要です。